

[様式1]

## 令和3年度 部局経営方針

部局名	農業委員会事務局	部局長名	黒木秀樹	
部局の経営資源	職員数 (人)	現計予算額 (千円)		令和3年度中に策定した計画 (根拠法令等)
	正職員	4	一般会計	28,277
	再任用職員	0	特別会計	0
	会計年度任用職員	2	前年度繰越額(千円)	
	任期付職員		一般会計	0
			特別会計	0
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p><b>【基本姿勢】</b></p> <p>1 ・県とともに国有農地等を適正管理し処分する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休農地の所有者に対し、県農地中間管理機構に農地の貸し出しについて意志確認を行い、遊休農地の解消を行う。</li> <li>・毎月の定例総会で農地の権利移動や転用の議案に対し農地法に基づく審議決定を行う。</li> <li>・市内全域の農地パトロールを行い、無断転用や遊休農地の発生を確認する。</li> </ul> <p>2 農業委員・農地利用最適化推進委員及び関係機関と連携し、加入対象者に対し臨戸訪問を行うなど、農業者年金の加入推進活動を行う。また、農業青年会議など農業団体と連携を図り、団体の活動内容の充実支援に努める。</p>			

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【農業委員会事務局】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の実績内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	2 活を生み出すにぎわづくり	2 強みを活かした「稼げる産振興プロジェクト」 3 農業の担い手確保と生産性向上	-	-	3 担い手への農地集積を推進し、作業の効率化による収益の向上を図ります。	農業委員会	農地中間管理機構支援事業	217	農地あっせん制度を利用し、貸したい、売りたい土地について、担い手へあっせんを行います。	年間の農地集積面積	35.1	ヘクタール	30.0	B	担い手に農地の集積を行うことができました。	農地の資産保有意識や兼業農家が農地を手放さない等の貸し手側の意識が課題となっています。	継続して貸し手側に農地集積の必要性を説明します。